

平成24年度春期 災害対策専門研修
マネジメントコース:ベーシック

主担当:主任研究員 阪本 真由美

	6月5日(火)	6月6日(水)	6月7日(木)	6月8日(金)	
09時30分～10時45分	1限	センター展示見学	ライフライン被害の様相 平山 修久 リサーチフェロー 京都大学大学院工学研究科 特定准教授 ・災害時のライフラインの被害の様相と復旧過程、大量に発生する瓦礫処理の課題を理解する。	防災計画・マニュアルの考え方 近藤 伸也 リサーチフェロー 東京大学生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター 特任研究員 ・災害対応に活かすことができるマニュアルの考え方について学ぶ	
11時00分～12時15分	2限	10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 阪本 真由美 主任研究員	地域防災計画論 永松 伸吾 リサーチフェロー 関西大学社会安全学部 准教授 ・地域防災計画の法的な位置づけとそれを補完するプログラム、活用方策の事例を学ぶ	民間企業の災害対応 水島 重光 日本生活協同組合連合会 震災担当世話役 ・災害時の被災者支援における、行政と民間企業との連携について学ぶ	
13時15分～14時30分	3限	災害をもたらす自然現象の理解(地震・津波) 清野 純史 上級研究員 (京都大学地球環境学堂 教授) ・地震発生のメカニズムと、それによる物理的・社会的被害を理解する	地震による建物被害 佐伯 琢磨 主任研究員 ・地震及び地震火災による建物被害を理解する	災害関連法体系基礎 山崎 栄一 大分大学教育福祉学部 准教授 ・災害対応にあたって使える権限・財源を知る ・災害対策基本法・災害救助法の守備範囲を知る	リスクコミュニケーション概論 吉川 肇子 慶応義塾大学商学部 教授 ・人びとがリスクをどのように認識しているのかを理解したうえで、緊急時の効果的な情報伝達方法を学ぶ。
14時45分～16時00分	4限	危機管理総論 越山 健治 リサーチフェロー 関西大学社会安全学部 准教授 ・危機管理の基礎的な考え方と実務上のとらえ方を理解する	(センター展示施設見学ワークショップ) 災害時に被災者が直面する生活課題 阪本 真由美 主任研究員 ・災害発生時に人びとが直面する生活上の課題を具体的にイメージすることができる。	大規模災害における行政の対応の実態 一東日本大震災と阪神・淡路大震災の事例より 〔震災当時の行政関係者〕 菅原 正 宮城県総務部危機対策課 課長補佐 三浦 清隆 南三陸町復興企画課長 野口 一行 兵庫県広域防災センター 前センター長 ・震災発生直後の対応状況と出てきた課題を学ぶ ・討論を通じて災害発生後に対応しなければならぬ課題と対応の考え方の理解を深める	全体討論会 阪本 真由美 主任研究員 等 ・参加者の意見交換から、災害対応における姿勢を学ぶ
16時15分～17時30分	5限	災害過程論 木村 玲欧 兵庫県立大学 環境人間学部 准教授 ・災害発生後に、被災者が直面する様々な課題を時間軸から理解する。		16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式	
17時30分～17時45分	—	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

平成24年度春期 災害対策専門研修
マネジメントコース:エキスパートB

主担当:主任研究員 石川 永子

	6月12日(火)	6月13日(水)	6月14日(木)	6月15日(金)
09時30分～10時45分	1限	災害情報共有手法 宇田川 真之 人と防災未来センター主任研究員 ・情報共有の具体的方法について	災害対策本部の空間構成設計演習 牧 紀男 京都大学防災研究所准教授 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト東京事務所防災部主任	業務継続計画論 紅谷 昇平 人と防災未来センター研究主幹 ・各公共機関におけるBCPの意味と重要性について、また、その導入について、具体的な事例を交えて理解する
11時00分～12時15分	2限	10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 石川 永子 人と防災未来センター主任研究員	都市巨大災害論 河田 恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する	リスクマネジメント概論 小林 潔司 人と防災未来センター上級研究員 (京都大学経営管理大学院・大学院工学研究科都市社会工学専攻(併任)教授) ・行政評価の手法と考え方、防災計画等に基づく事業の評価手法について
13時15分～14時30分	3限	災害による交通渋滞について 中川 大 人と防災未来センター上級研究員(京都大学大学院工学科 都市社会工学専攻 教授/低炭素都市圏政策ユニット・政策支援センター長) ・災害時における交通計画や道路啓開の仕方、都市構造等について	災害をもたらす自然現象の理解(地盤災害) 岡 二三生 人と防災未来センター上級研究員(京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 教授) ・地震動による液状化など、地盤被害の状況を理解する	災害の対応事例と教訓 齋藤 富雄 兵庫県国際交流協会理事長 ・災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める ・事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める
14時45分～16時00分	4限	災害対応の動向 名執 潔 アジア防災センター(ADRC)所長 ・国内外の最近の災害対応策の方向性について、東日本大震災等の事例をふまえた対応の見直しの動向などを交えて理解する	災害時のこころのケア 明石 加代 兵庫県こころのケアセンター 主任研究員 ・災害発生初動期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて	全体討論会 石川 永子 人と防災未来センター主任研究員 等 ・参加者との意見交換から、立場による考え方の違いを学ぶ
16時15分～17時30分	5限	展示施設見学	被害認定業務 田中 聡 富士常葉大学環境防災学部教授 ・被害認定の種類、また被災者への支援にとって重要な罹災証明書発行業務の実務について	標準的な災害対応システム論 林 春男 人と防災未来センター上級研究員(京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授) ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について
17時30分～17時45分	—	レポートタイム	レポートタイム	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式

平成24年度春期 災害対策専門研修
マネジメントコース:エキスパートA

主担当:主任研究員 佐伯 琢磨

	6月19日(火)	6月20日(水)	6月21日(木)	6月22日(金)
09時30分～10時45分	1限	市民社会ワークショップ 立木 茂雄 客員研究員 (同志社大学社会学部 教授) 山本 康史 ハローボランティア・ネットワークみえ代表 平野 昌 ハローボランティア・ネットワークみえ事務局 ・災害時の被災社会の対応において、ボランティアの果たす役割、市民の力の特徴と行政との関係のあり方について理解を深める”	都市の復興概論＋復興まちあるき 小林 郁雄 上級研究員 (神戸山手大学現代社会学部 教授) ・阪神・淡路大震災の被災地を歩きながら、復興過程と様々な取り組みを学ぶ	災害対応概論(初動期) 紅谷 昇平 研究主幹 ・初動対応時の対応と課題について理解を深める
11時00分～12時15分	2限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 佐伯 琢磨 主任研究員			災害対応概論(復旧・復興期) 中林 一樹 上級研究員 (明治大学 大学院政治経済学研究科 特任教授) ・復旧・復興期の対応と課題について学ぶ
13時15分～14時30分	3限 災害をもたらす自然現象の理解(津波) 奥村 与志弘 リサーチフェロー 京都大学大学院 地球環境学 資源循環学 廊下 地震リスク論分野/工学研究科 都市社会工学 専攻 地震ライフライン工学講座(兼務)助教 ・津波の発生メカニズムとそれによる物理的・社会的被害、今後の災害に備えた被害想定について学ぶ	災害対応各論(NPO・NGO) 阪本 真由美 主任研究員 ・災害時の被災社会の対応において、NPO・NGOの果たす役割とその特徴、また、行政との連携について理解を深める	災害対応各論(医療活動) 甲斐 達朗 上級研究員 (大阪府済生会千里病院副院長・千里救命救急センター長) ・災害現場の医療活動体制について理解を深める	災害対応演習 紅谷 昇平 研究主幹 ・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ
14時45分～16時00分	4限 災害対応各論(被災者救護の法的枠組み) 喜田川 典秀 厚生労働省社会・援護局災害救助・救援対策室 室長補佐 ・自治体の防災担当部局の組織力を向上させるために、災害救助法などなどの理解を深める。	災害時の物流対応 興村 徹 (株)日通総合研究所経済研究部 部長 ・災害直後から被災者の生活支援のための物流対応について、自治体担当部署のみならず民間運送会社などの能力も活用した実践的な事例を学ぶ	危機対応時の組織論(情報システム) 浦川 豪 兵庫県立大学総合教育センター内防災教育センター 准教授 ・災害発生直後の被害予測技術、システム設計における業務分析の考え方を学ぶ	＋ 災害事例 WS 佐伯 琢磨 主任研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限 ※展示施設見学	危機対応時の組織論(戦略的な広報について) 川西 勝利リサーチフェロー (読売新聞大阪本社 編集委員) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ	災害対応概論(応急期) 石川 永子 主任研究員 ・応急対応期の対応と課題について理解を深める	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 開講式
17時30分～17時45分	— レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	